



# 園だより

# 2017年6月

シオン保育園・子育て支援センター・シオン子どもの家

年主題 「あなたがたは神に愛されている子どもです」

聖書 エフェソ5:1

6月主題 見よ、それは極めて良かった(聖書・創世記 1・31)

## ♥シオン保育園

### \*9日(金)横棚カネ子様 読み聞かせ

ボランティアの横棚様が来園されて紙芝居などをさせていただきます

### \*22日(木)クレオさん来園

国際交流員のクレオさんが来られて英語で遊びます

### \*23日(金)10:30~誕生会

6月生まれのお子さんを お祝いします。うさぎ組以上の6月生まれのお子さんの保護者様はどうぞご参加ください。参加費は200円です。この費用は「お誕生日ありがとう運動」に全額寄付いたします。

誕生日ありがとう運動は障がいをもつ人たちに対する啓発活動を行っている団体です

### \*30日(金)ヘルスメイトさんとの交流会 ヘルスメイトさんと一緒に食事をします

## ♥子育て支援センター 6月の行事

\*子育て支援センターは(月)(水)(金)開いております。今年度の開設時間は9:00~14:00までです。また、昨年度同様に開設日の午前中すべてに行事を入れています。行事の時間はいつも10:00からです。基本的には、(月)は手仕事を楽しまます。(水)は、遊びの日で音楽リズムを中心におこないます。(水)はおやつを用意しています。(金)はかんたんクッキングです。

今月の計測は14日(水)です。楽しみ昼食会は23日(金)です。昼食会に参加なさる方は16日(金)までに子育て支援センターにご連絡ください。

## ♥シオン子どもの家(学童保育)

### 6月13日(火)19:30~子どもの家保護者連絡会をおこないます。

お便りで出欠の確認をさせていただきます。ぜひみなさまご出席ください。

夏休みに関してのお便りは7月にお出しします。

**開園時間は保育園と子どもの家は7:45~18:00までですのようしくお願いいたします。**

保育園・問合せ先 隠岐郡西ノ島町別府 149-9 ☎08514-7-8411 FAX08514-7-8540

携帯 080-2901-0378 (花・月・星組) 090-4577-8472 (うさぎ組) 080-2901-0377 (つぼみ組)

子育て支援センター連絡問い合わせ ☎08514-7-8566 子どもの家携帯電話 090-8716-1324

欠席のご連絡は8~9時までに各クラスの携帯にご連絡下さい。病気の場合は体調について保育士などが様子を詳しくお尋ねしたい場合もございます。

## 新しい職員の紹介

### 杉本 仁

3月に専門学校を卒業して4月からうさぎ組の担任になりました。専門学校に行く前はございなので働いていました。よろしくお願いたします。

### 大野 光

横浜で働いていましたが、この度郷里に帰りシオン保育園で働くことになりました。

花・月・星組の担当です。よろしくお願いたします。

## ♡5月の様子から



**5月8日(月)**は保育園で交通安全南京玉すだれの公演がありました。傘の上でボールやぬいぐるみがクルクル回ったり皿回しがあつたりして、子どもたちは歓声をあげて喜んでいました。また信号の見方や道の渡り方なども教わりました。南京玉すだれは古くから伝わる芸能で竹で作った玉すだれがいろいろな形を作つたりして楽しませてくれます。また皿回しには子どもたちも参加してうれしかったようです。

最後に浦郷警察署のお巡りさんも来てくださり、お話を聞いてお約束もしました。保育園では子どもたちと約束をしていますが、おうちでも交通安全についてお子さんと一緒に考えていただき、元気で事故などに遭わないようにと思います。次のことにご注意ください。



1. 道路の飛び出しはしない。お迎えや登園の時などは特にお気を付けください。  
道路ではお子さんと手をつないで歩きましょう。保育園を出るときはお子さんだけで出さないでください。
2. 車は必ず駐車場に止めてください。保育園の入り口付近は、子どもだけでなく障がいを持った方々も通りますので危険です。また駐車場では遊ばないでください。
3. お子さんが嫌がってもシートベルトは必ず装着してください。

**5月13日(土)**は家族遠足でバスで島根鼻まで行きました。3歳以上は浦郷ノアから歩きました。島根鼻にはテントウムシがいたり、野イチゴもたくさんあつたりしてとても楽しい時を過ごせました。前日から早朝まで雨が降ってお天気が心配でしたが、良いお天気になりよかったですね。



保護者会総会も行われました。新しい役員は次の通りです。

会長 福田幸子様      副会長 山崎麻祐様      会計 梶谷千苗様

いろいろとお世話になります。よろしくお願ひいたします。



保育園に大山の中瀬正幸様からカブトムシの幼虫をいただきました。幼虫の大きさに子どもたちはびっくり！大興奮でした。さっそく飼育ケースに土を入れて幼虫を入れ、毎日お水で湿らせたり餌の蜜をあげたりして世話をしています。いつごろサナギになって、カブトムシになるのかな？と楽しみにです。玄関に置いてありますので、お子さんと一緒に見てみてくださいね。中瀬さん、ありがとうございました。

**5月29日(月)と30日(火)**は花の日でした。花の日はアメリカで始まったキリスト教会の行事で神様の恵みのしるしとしての花を教会に飾り、それを子どもたちが病院や施設に持って行って訪問しました。シオン保育園では、毎年この時期に皆さんがご家庭から持ってきてくださったお花を日ごろお世話になっている方々のところに届けています。今年も園児全員がそれぞれ手分けして28か所を訪問しました。みなさん、とても喜んでくださいました。たくさんのお花を持ってきてくださり、ご協力ありがとうございました。



**子育て支援センター**は毎月1回お楽しみ昼食会を行っています。皆さん毎月楽しみにしてくださっています。お友達と一緒に食べるご飯はおいしいですね。

5月の食事会は26日(金)でメニューはちらしずし・澄まし汁・ゼリーでした。お母さんたちの会話も弾み、楽しそうでした。

## ♡子どもたちと目と目をあわせて



朝日新聞 5月24日の「ペットとともに」という記事にこのようなものが載っていました。

これまで飼い主は犬のリーダーと考えられていましたが、ほかの動物にはない特別な関係が築かれているということが最近の研究によってわかってきたということです。

愛犬と目が合ったら幸せな気持ちになる…それは飼い主の思い込みではないのです。2015年の研究で視線を合わせている飼い主と犬の双方の尿中濃度を調べたところ、愛情や信頼に関するホルモン「オキシトシン」の濃度が上昇するということがわかったそうです。

人間では母親と子どもの間でオキシトシンをお互いに高めあう関係性があることがわかっているそうです。

今回異なる動物間で同じような関係がわかったのは初めてということです。たとえば飼いならされたオオカミは、飼い主と視線を合わせないのでオキシトシン濃度の上昇は起きません。

人と犬は親子にも通じる特別な関係が存在するということです。

また、不安をかきたてられる新しい環境に犬が置かれたときは、飼い主を「安全基地」として頼る行動をするそうです。このことは私たちおとなが「子どもと視線を合わせる」ということの大切さを教えてくれています。お互いに視線を合わせることによって、信頼するという特別な関係を築いていくのです。そして子どもたちが不安になったときはおとなが「安全基地」になることで、不安をやわらげ、安心できる経験をすることでたとえ困難にあってもそれを乗り越える力を与えられていくのではないかと、思います。子どもたちと目をあわせてお話してみましょう。

## ♡熱中症にご注意！

### ・熱中症は…

高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。脱水症状を起こし大変危険です。



### ・脱水症状とは…おしっこの量が減ったり、機嫌が悪くなったり、手足が冷たくなったり

脈が速くなったりもします。頭痛・めまい・倦怠感・嘔吐などを引き起こし、命にかかわることもあります。

### ・熱中症が疑われたら…

脱水症状が疑われるときはすぐ病院へ行きましょう。

涼しい場所へ移し 水分を与えます。水分補給にはジュースや炭酸飲料は避けて塩分を含む水分を与えます。衣服を緩めて 体を冷やします。(特に首回り・わきの下・足の付け根など)

### ・熱中症予防には…

- 1) 外出時には飲み物を持参してこまめに飲ませましょう。
- 2) 暑さ対策や天気・気温をチェックします。
- 3) 風通しの良い服装で…子どもは大人より1枚少ないくらいがちょうどよく、厚着はよくありません。
- 4) 外出時の帽子は忘れずに。ベビーカーでのお出かけも日よけ対策を。
- 5) ほんの少しでも車内に子どもを置き去りにしないでください。短い時間でも熱中症で命を落とすことがあります。寝ているからと言って絶対に家や車に子どもを置き去りにしないようにしましょう。
- 6) 休息をとりましょう。暑いときはとくにお昼寝は大切です。夜も早めに寝かせましょう。
- 7) 大人のスケジュールに合わせるのではなく子どもの生活にあわせたスケジュールで過ごしましょう。子どもに合わせた生活といっても、子どもの言いなりになってほしいことばかりをさせるものではありません。起きる時間、食事の時間、休息の時間寝る時間は、大人がきちんと決めて守らせましょう。

## 自力で水が飲めない、意識がないときはすぐに救急車をよびましょう

(参考:2017年厚労省通達文書 2016年ひよこクラブ ほか)